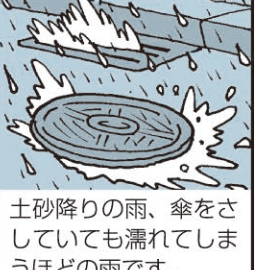


雨による危険度のチェックポイント

やや強い雨 (1時間に10～20mmの雨)	強い雨 (1時間に20～30mmの雨)	激しい雨 (1時間に30～50mmの雨)	非常に激しい雨 (1時間に50～80mmの雨)	猛烈な雨 (1時間に80mm以上の雨)
 地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。	 土砂降りの雨、傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。下水があふれ、小河川では、氾濫やがけ崩れの心配もあります。	 バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要です。道路規制も行われます。	 雨が滝のように降り、あたりが水しぶきで白くなります。マンホールから水が噴出することもあり、土石流などが発生しやすくなり、警戒が必要です。	 息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害の発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要です。

● 警報・注意報の種類

●大雨注意報 ●大雨警報 ●土砂災害警戒情報 ●大雨特別警報

記録的短時間大雨情報

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測したときに発表します。この情報は、大雨警報発表中に発表するもので、雨量基準は、1時間雨量歴代1位または2位の記録を参考に、概ね府県予報区ごとに決めています。(空知地方の発表基準は1時間に100mm)

風による危険度のチェックポイント

やや強い風 平均風速 (10～15m/s)	強い風 平均風速 (15～20m/s)	非常に激しい風 平均風速 (20～25m/s)	猛烈な風 平均風速 (30m/s以上)
 風に向かって歩きにくくなり、取付けの不完全な看板やトタンが飛び始めます。	 風に向かって歩きにくくなり、転倒する人が出たりビニールハウスが壊れはじめたりします。	 しっかりと体勢を確保しないと転倒します。金属製のシャッターが破損したり、風で飛ばされたもので窓ガラスが割れたりします。	 立っていられなくなり、屋外での行動は危険です。ブロック塀が壊れたり、取付けの不完全な屋外装材がはがれ飛び始めます。

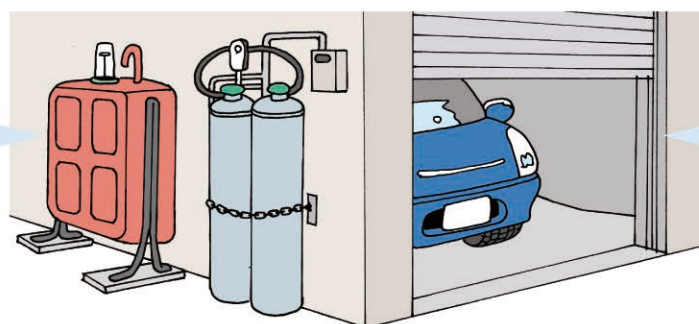
● 警報・注意報の種類

●強風注意報 ●暴風警報 ●暴風特別警報

わが家の風水害対策

●家の周囲の片づけ

台風がくると、強風で物が飛散します。家の周りの鉢植えや物干し竿など飛散の危険が高いものは屋内に片づけましょう。灯油のホームタンクやプロパンガスのボンベの固定状況も再確認しましょう。



●半地下、地下駐車場の浸水対策

半地下や地下車庫は道路からの雨水が流入し、浸水することがあります。浸水の恐れがあるときは、地下室に入らないようにし、事前に止水板・土のうなどで浸水防止策をとりましょう。

竜巻への備え

竜巻とは？

発達した積乱雲から地面や水面に柱状に伸びた非常に速い速度で回転する空気の渦です。移動スピードが非常に速く、短時間で狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらします。

竜巻注意情報が発表されたら

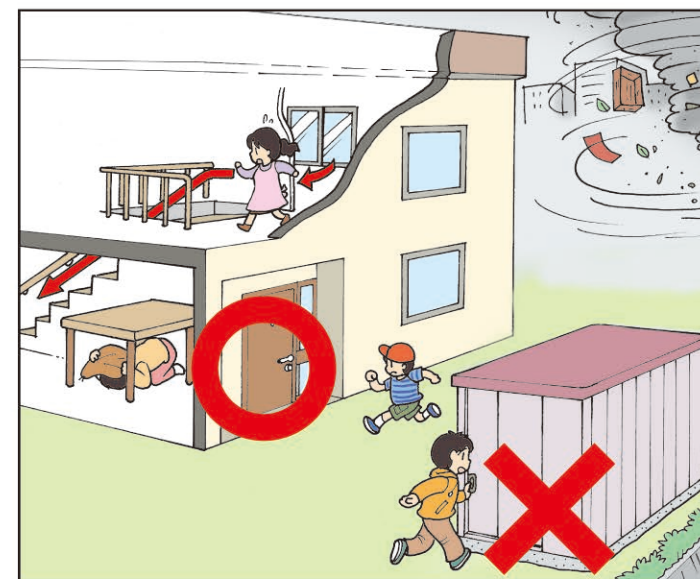
まず周囲の空の状況に注意を払ってください。さらに、次のような兆候が確認されたら、頑丈な建物に避難して、身の安全を図ってください。

- 1 空が急に真っ暗になる。
- 2 大粒の雨が降り出す。
- 3 雷が発生する。
- 4 積乱雲が近づく。

竜巻が間近に迫ったら

すぐに身を守るための行動をとってください。

- 1 屋内：窓やカーテンを閉めて、一階の窓のない部屋に移動し、机やテーブルの下に入るなど、頭を守ってください。
- 2 屋外：頑丈な建物の物陰に入って、身を小さくする。物置・車庫・プレハブの中や電柱・樹木は倒壊する恐れがあり、危険です。



竜巻注意情報

竜巻注意情報は、竜巻やダウンバースト※等による激しい突風に対して注意を呼びかける気象情報で、気象台から発表されます。

「竜巻注意情報」の発表から約1時間は注意してください。危険な気象状態が続く場合は、改めて情報が発表されます。

※積乱雲から吹き降ろす下降気流が地表に衝突して水平に強い風が吹く現象です。被害範囲は竜巻より広く、円形あるいは楕円形など面的に広がる特徴があります。

雪害への備え

雪害は、豪雪地帯や雪崩の発生する恐れがある山間部に住む人達への注意と思われがちですが、実際には除雪中に起きる事故が最も多いのです。また、外出する時などには、気象情報などを十分に確認しましょう。

「除雪中の事故を防ぐための10か条」

- 1 作業は、家族や隣近所にも声をかけて、2人以上で行いましょう。
- 2 低い屋根でも油断しないでください。
- 3 建物のまわりには、雪を残して雪下ろしをしてください。
- 4 作業開始直後と疲れた頃は特に慎重に作業するようにしてください。
- 5 晴れている日ほど要注意です。屋根の雪がゆるんでいます。
- 6 屋根の雪下ろしをする場合は、命綱とヘルメットを忘れずにつけてください。
- 7 屋根に昇る時の梯子は、必ず固定してください。
- 8 スコップ等の除雪道具は、点検をするようにしてください。
- 9 除雪機の雪づまりの手入れなどは、エンジンを切ってから作業するようにしてください。
- 10 携帯電話は、忘れずに携帯するようにしてください。



- 天気予報で「数年に1度の猛吹雪」「外出は控えて」などの言葉があれば暴風雪に警戒を。
- 暴風雪のときは外出しないことが最も安全です。普段から家の中で安全に過ごせる準備をしましょう。

